

【報道関係各位】

三谷産業株式会社
2021年10月4日

オンライン内定式を開催しました ～会社と内定者同士、双方に理解を深める場を演出～

三谷産業株式会社（本社：石川県金沢市／代表取締役社長：三谷 忠照、以下 三谷産業）は2021年10月1日、内定式をオンライン形式で開催しました。

式典のオープニングでは、金沢駅から今回実際には集まることができなかった金沢本社への道のりを実際に歩いているような動画を放映し、内定者にご覧いただきました。

代表取締役社長 三谷忠照の挨拶では「売り物売るのではなく、お客さまの課題と一緒に見つけ一緒に解決するというのが、三谷産業で働くということです。また、『三谷産業は創業93年のベンチャー企業である』ということをお忘れずに、皆さん自身もいつかは新しいコトを起こしていけるような、創造性あふれる人たちになってくれたらとても嬉しいです」と、激励の言葉を贈りました。その後、内定者は「座右の銘」や「好きな言葉」というテーマで、自己紹介を行いました。

内定式の後には交流会が開かれ、専務取締役 阿戸雅之より「創業90年を越えるベンチャー企業集団」と題し、三谷産業の歴史と自身が取り組んできた事業について、和やかな雰囲気での講話が行われました。

内定者の皆さまからは「就活が終わりホッとしたところもありましたが、今日を境にまた一歩一歩頑張っていきたいと思います」「内定式の準備をいただきありがとうございました。これからは三谷産業の一員として、自覚を持って過ごしていきたいと思います」「内定式は堅苦しいイメージが正直ありましたが、内定者全員が常に笑顔で、自分らしさを前面に押し出して発表もできる和やかな場を提供してくださるのは素晴らしいと感じました」などのご感想をいただきました。

今回の内定式の企画を担当した人事本部人材開発部の鈴木しおり社員は、「今年の内定式を行うにあたり、当社らしい温かい雰囲気の内定者の皆さまをお迎えするにはどうしたらよいかを考えました。当日は、当社からの一方的な情報発信を行うのではなく、会社のことおよび内定者のことを互いにより深く理解することができるような構成ができたと考えております。このような情勢ではありますが、今後もさまざまな工夫を凝らしたかたちで内定者に寄り添ったサポートをしていきたいと思っております」とコメントしました。

三谷産業は社員の成長を継続的にサポートし、働きやすさと働きがいと両立した職場環境づくりに努めます。また、社会の発展や豊かさに貢献することを目指して取り組んでまいります。

(補足情報)

【三谷産業グループについて】 <https://www.mitani.co.jp/>

石川県金沢市で創業して 93 年、ベトナムで創業して 27 年の複合商社です。北陸、首都圏、ベトナムを拠点に、化学品／情報システム／樹脂・エレクトロニクス／空調設備工事／住宅設備機器／エネルギーの 6 セグメントで事業を展開しています。商社でありながら、時にメーカーとして、また時にコンサルタントとして、お客さまにとっての最適を追求するとともに、「創業 90 年を越えるベンチャー企業」として更なる進化へと挑戦しています。

2021 年 3 月期：連結売上高 80,541 百万円／連結従業員数 3,540 名

<報道機関からのお問い合わせ先>

三谷産業株式会社 経営企画本部 PR 企画室 (担当：木下・三浦)

TEL: 03-3514-6003